



RICOH
AUTO
HALF

SE

撮影の手引



オートハーフSEの特長

1. フィルムオートスタート

フィルムをカメラに入れてスプリングを巻上げると、自動的に1枚目の撮影位置にセットされますので、から写し不要です。

又、シャッターを切った後、カメラに内蔵されたスプリングモーターがフィルムを自動的に巻上げますから、いちいち巻上げる必要もなく、すぐに次の撮影が出来ます。

2. 露出計完全連動EE

カメラを被写体にむけて、シャッターボタンを押す。それだけでカメラが自動的に適正露出を決定し、失敗のない写真が出来ます。

3. ピント調節は必要なし

ピンボケは絶対にありません。

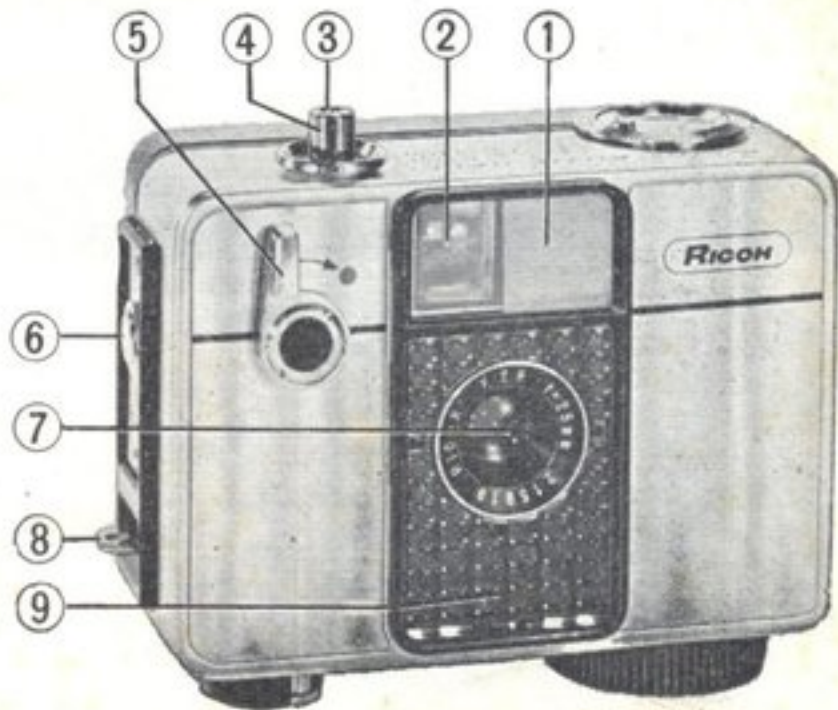
ピント調節の必要のない新設計固定焦点レンズを使用していますので、焦点深度が深く1.5mから無限大までどの位置でもハッキリ写ります。

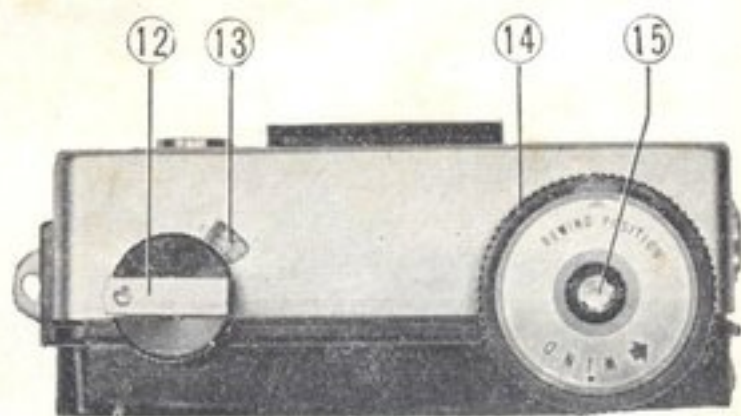
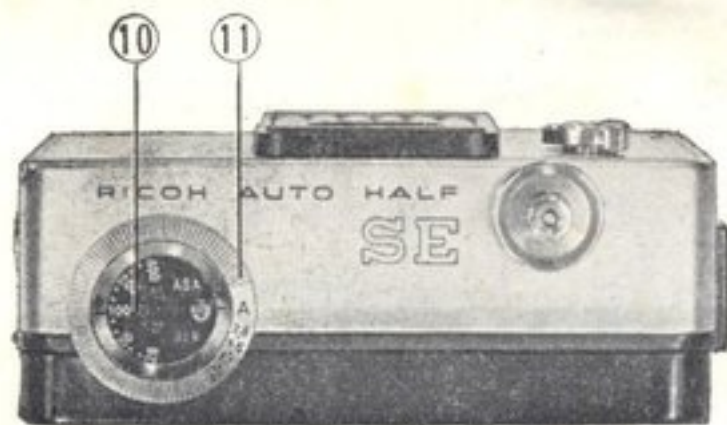
4. セルフタイマー内蔵

セルフタイマーが組込まれていますから、セットレバーを動かす簡単な操作だけで、人の手を借りずに撮影できます。デートに、旅行に、最適です。

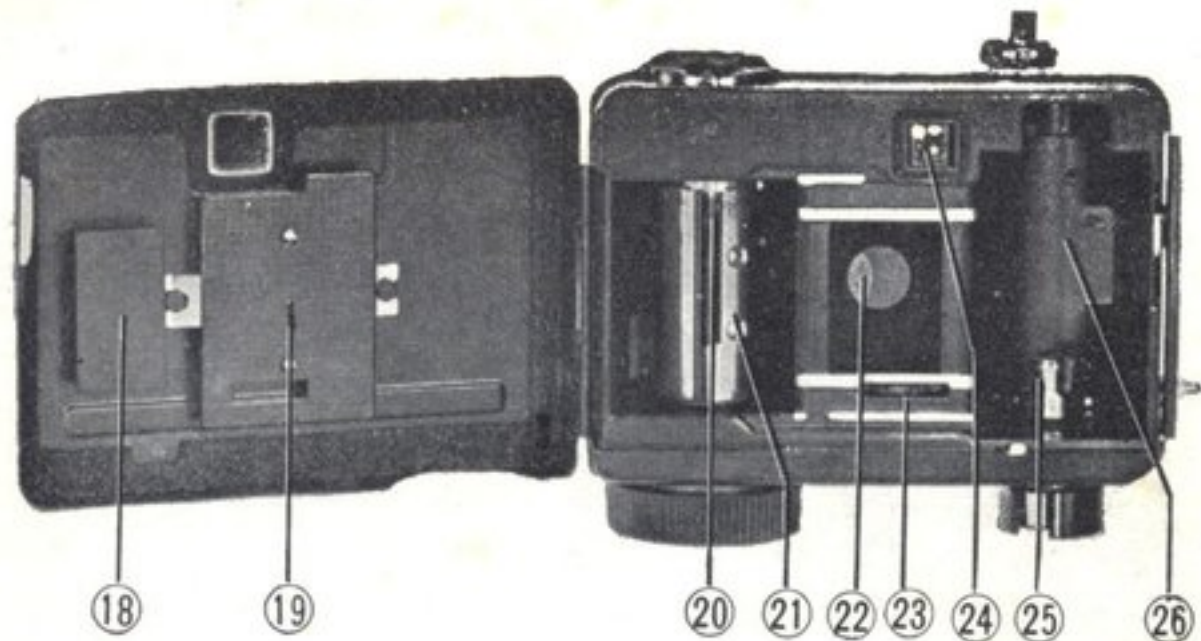
各部の名称

- ① 明りとり窓
- ② ファインダー
- ③ レリーズソケット
- ④ シャッターボタン
- ⑤ セルフタイマー
- ⑥ 裏蓋開閉ボタン
- ⑦ 撮影レンズ
- ⑧ 紐吊り金具
- ⑨ 露出計受光窓





- ⑩ ASAダイヤル
- ⑪ 絞りマニュアルダイヤル
- ⑫ フィルム巻戻しクランク
- ⑬ フィルムカウンター
- ⑭ スプリング巻上げノブ
- ⑮ フィルム巻戻しボタン
- ⑯ シンクロソケット
- ⑰ 三脚取付ネジ穴



- ⑱ パトローネ押え
- ⑲ フィルム圧板
- ⑳ スプールバネ
- ㉑ スプール
- ㉒ シャッター羽根

- ㉓ スプロケット
- ㉔ ファインダー接眼
- ㉕ パトローネ受軸
- ㉖ パトローネ室

仕様

レンズ	リコー F2.8 25mm 3群4枚構成テッサータイプ 固定焦点式
シャッター	セイコーシャッターBS11型エバーセット方式 $\frac{1}{125}$ 秒 (オート撮影Aのとき) $\frac{1}{30}$ 秒 (フラッシュ撮影のとき) X接点 (ストロボ、M級バルブに同調)
ファインダー	採光式ブライツフレームファインダー 倍率 0.32 視野 85%
露出計	セレン光電池使用完全連動EE、連動範囲EV10-16 ファインダー内露出警告マーク表示 (黄色→適正・赤→不足)
フィルム操作	自動的に一枚目をセットするフィルムオートスタート方式、スプリングモーターによる自動巻上げ、二重露出防止装置付、クランクによる巻戻し
セルフタイマー	作動時間 6.5~15秒
大きさ・重さ	89mm×67mm×34.5mm 350g

● 撮影にあたって

次の事にご注意ください。

- フィルムが入っていないときは、シャッターは切れません。
(フィルムを入れスプリングを巻上げて下さい)
- 暗室等でフィルムを一部切断する場合は、**スプリングを必ず解除**してから裏蓋を開けて下さい。

スプリングを解除するには、スプリング巻上げノブの**赤印**と **REWIND POSITION**の**赤印**を合わせて、巻戻しボタンを押したうえ、シャッターを切って下さい。ジーッと音がしてスプリングがほどけます。

(P.24参照)



撮影順序早わかり

準備

- ①カメラにフィルムを入れる。(P.9)
- ②スプリングを巻上げる。(P.14)
- ③露出ダイヤルをセットする。(P.15)
 - ASAダイヤル(SSフィルムならば100に)
 - 絞りダイヤル(Aに合わせる)

撮影

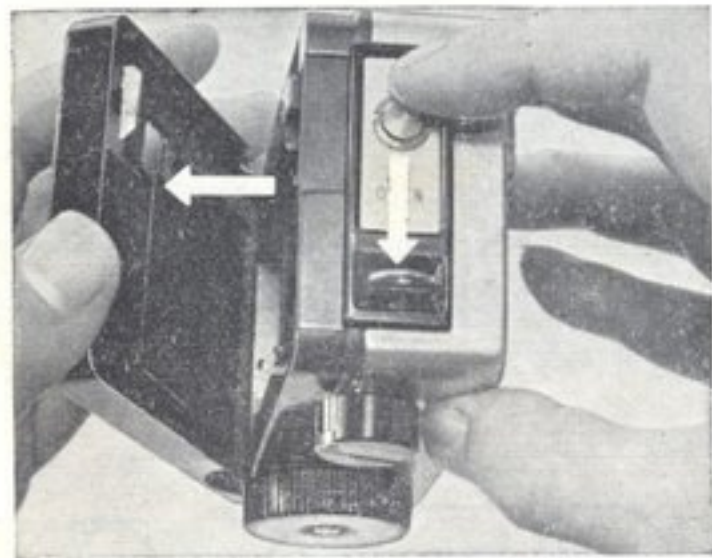
- ①ファインダーをのぞいて構図をきめる。(P.16)
- ②露出警告マークの表示を確認してシャッターを切る。
(P.17-18)

終了

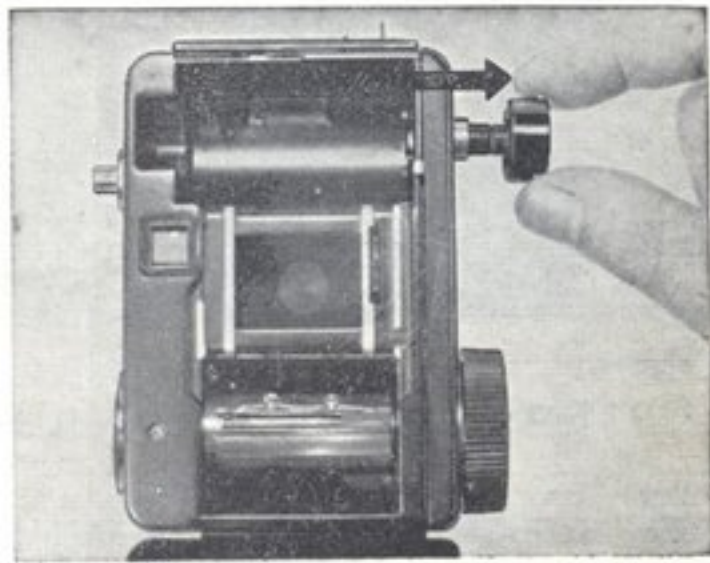
- ①撮影終了。(P.22)
- ②フィルムを巻戻す。(P.22)
- ③フィルムを取出す。(P.22-23)

🌀 フィルムの入れ方

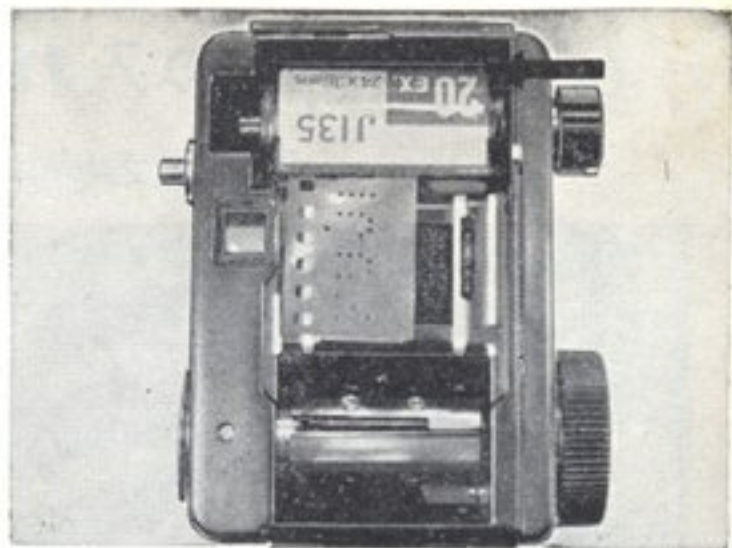
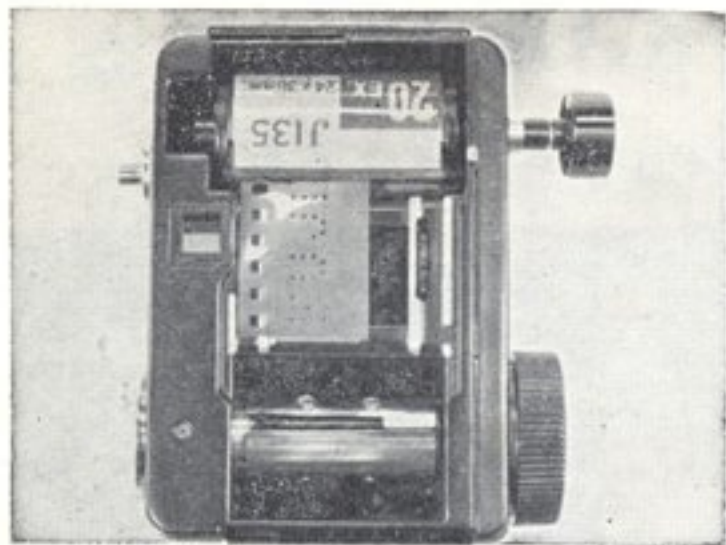
フィルムを入れる時は直射日光をさけてください。



- ①裏蓋を開きます。
裏蓋開閉ボタンを“OPEN”の
方向へ押して開きます。



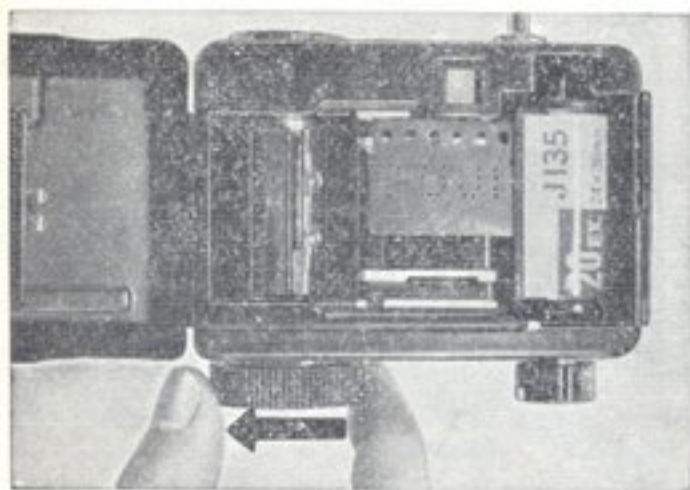
- ②フィルム巻戻しクランクを引き出
します。



- ③パトローネ室にフィルムを入れます。
- ④フィルム巻戻しクランクを押し込みます。この時、フィルムの軸とパトローネ受軸の溝とが合うようにキッチリ押し込みます。

(右図参照)



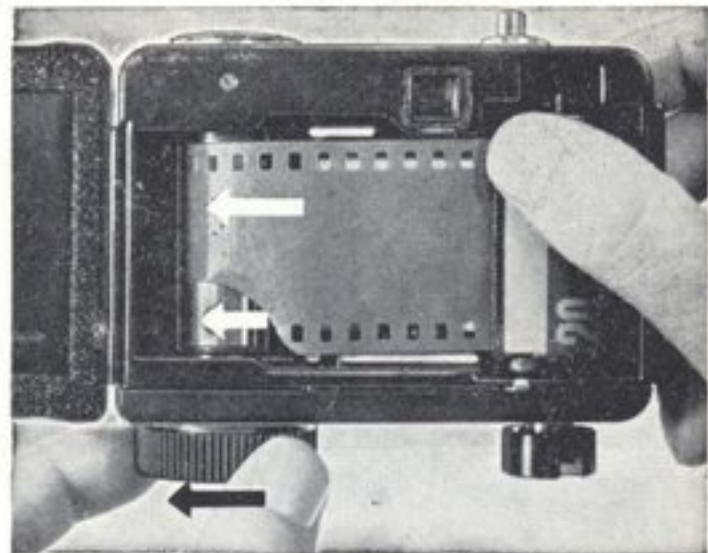
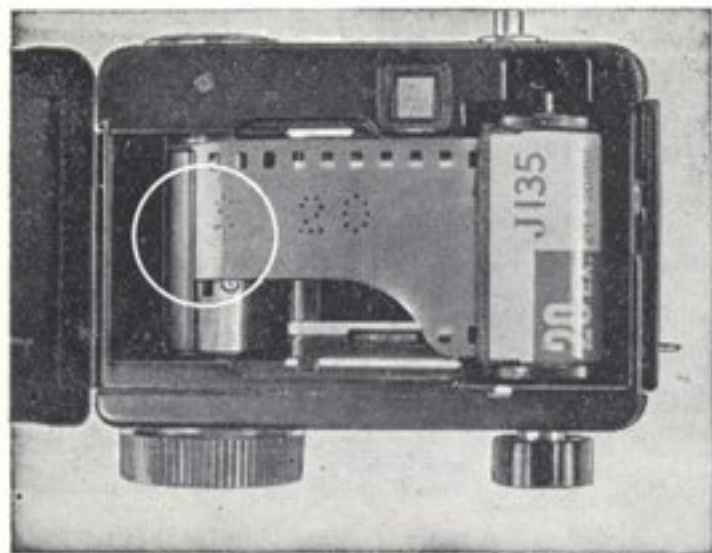


- ⑤ スプールバネを上に向けます。
スプリング巻上げノブを廻わして
スプールバネのフィルムくわえ口
を上にもってきます。

※ スプリング巻上げノブを廻しても
スプールがまわらない時は、
ラチェットワインディング（往復
巻上げ—時計のリューズと同じ
ように、前後にまわして巻上げ
る）を数回おこなってください。

※ フィルムのくわえ口は、3個所
ありますが、どれでも使用でき
ます。

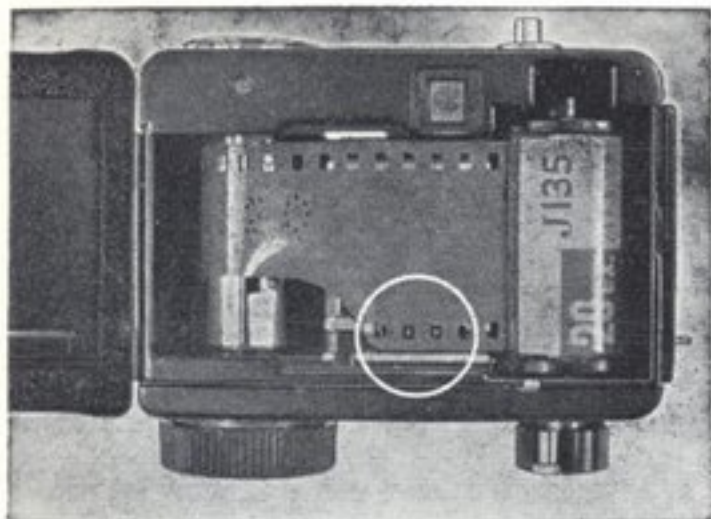
※ 巻上げノブを廻しますと、ジャ
ージャーと音がしますが、スプ
リングは効いていません。



- ⑥ フィルムをパトローネから引出して、スプールバネにさし込みます。

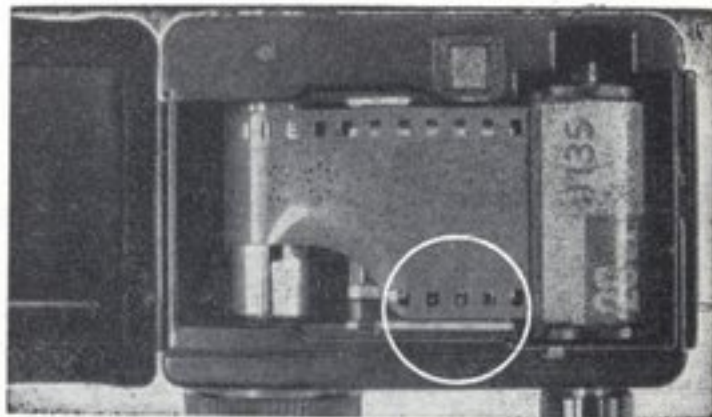
※この時、フィルムの穴とスプールバネの爪とが、正しく合うようにします。

- ⑦ スプリング巻上げノブを少しまわして、フィルムを巻上げてゆきます。

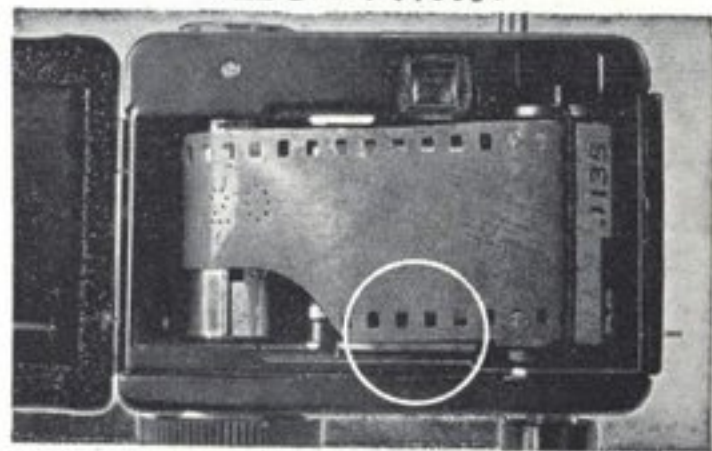


- ⑧ スプロケットにフィルムの穴を正しく合せます。

※ スプロケットとフィルムのパフォーマンスが正しく合っていないとフィルムはいつまでも進みます。



〈正しい入れ方〉



〈正しくない入れ方〉



⑨フィルムが正しく入っている事を確かめ、裏蓋を閉じます。

※裏蓋開閉ボタンが下っている時には上にもどしておきます。

⑩スプリングを巻上げます。

スプリングの巻上げは時計のリューズと同様、ラチェット方式になっていますから前後に往復して止まるまで巻上げて下さい。



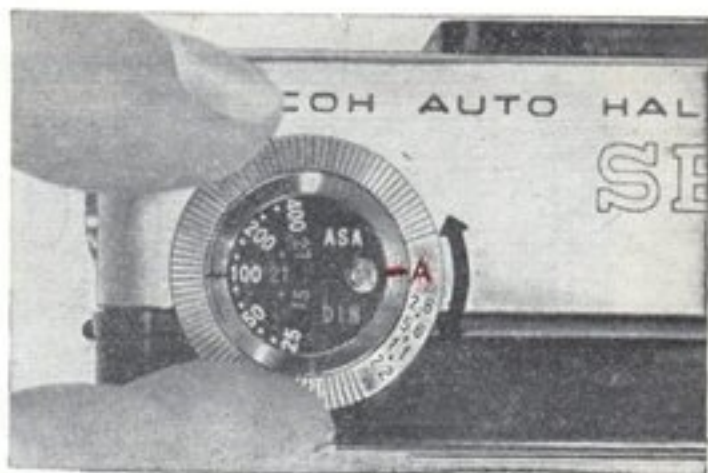
⑪スプリングを巻上げると、フィルムは自動的に1枚目にセットされますので、から写しの必要がなくすぐ撮影できます。

⑫フィルムによって多少異なりますがスプリングを一杯巻上げる事により約30枚連続に撮影できます。

露出ダイアル調節



- ① ASAダイアルをまわして、使用フィルムの感度と合わせます。
 (例) SS級フィルムの場合は、ASA100です。



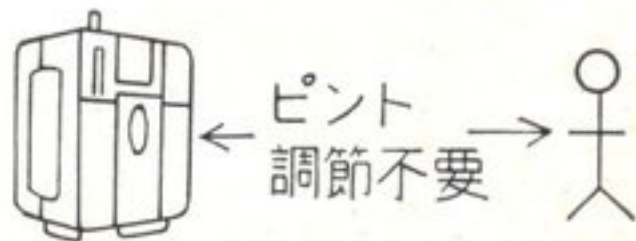
- ② 絞りダイアルをまわして、Aに合わせます。Aに合わせておきますと被写体により自動的に正しい露出にセットされます。

ASAダイアルの間数字はそれぞれ次のようになっています

	(32)(40)	(64)(80)	(125)	(160)	(250)	(320)	
ASA	25	50	100	200	400		
DIN	15	21					27
	(16)(17)(18)(19)(20)	(22)	(23)	(24)	(25)	(26)	



ファインダーの見方



<構図>

ファインダー内の金色のフレーム線（四角い枠）内に写そうとするものが入るよう、カメラの位置を決めます。

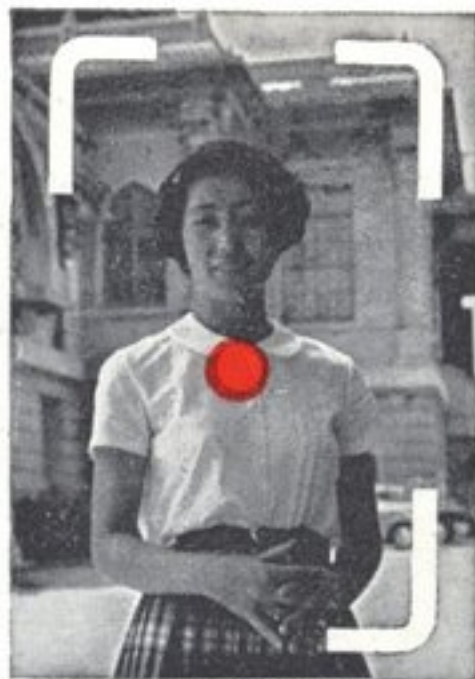
<ピント調節>

固定焦点式ですからピント調節の必要はありません。



〈露出警告マーク〉

正しい露出の時には、ファインダー中央部に黄色の円形マークが見えます。



※円形マークが赤色の時には、露出不足になります。この場合はシャッターを切っても良い写真は撮れませんから照明でうつすものを明るくするか、フラッシュ撮影をしてください。(P.25参照)

⊗ シャッターを切る



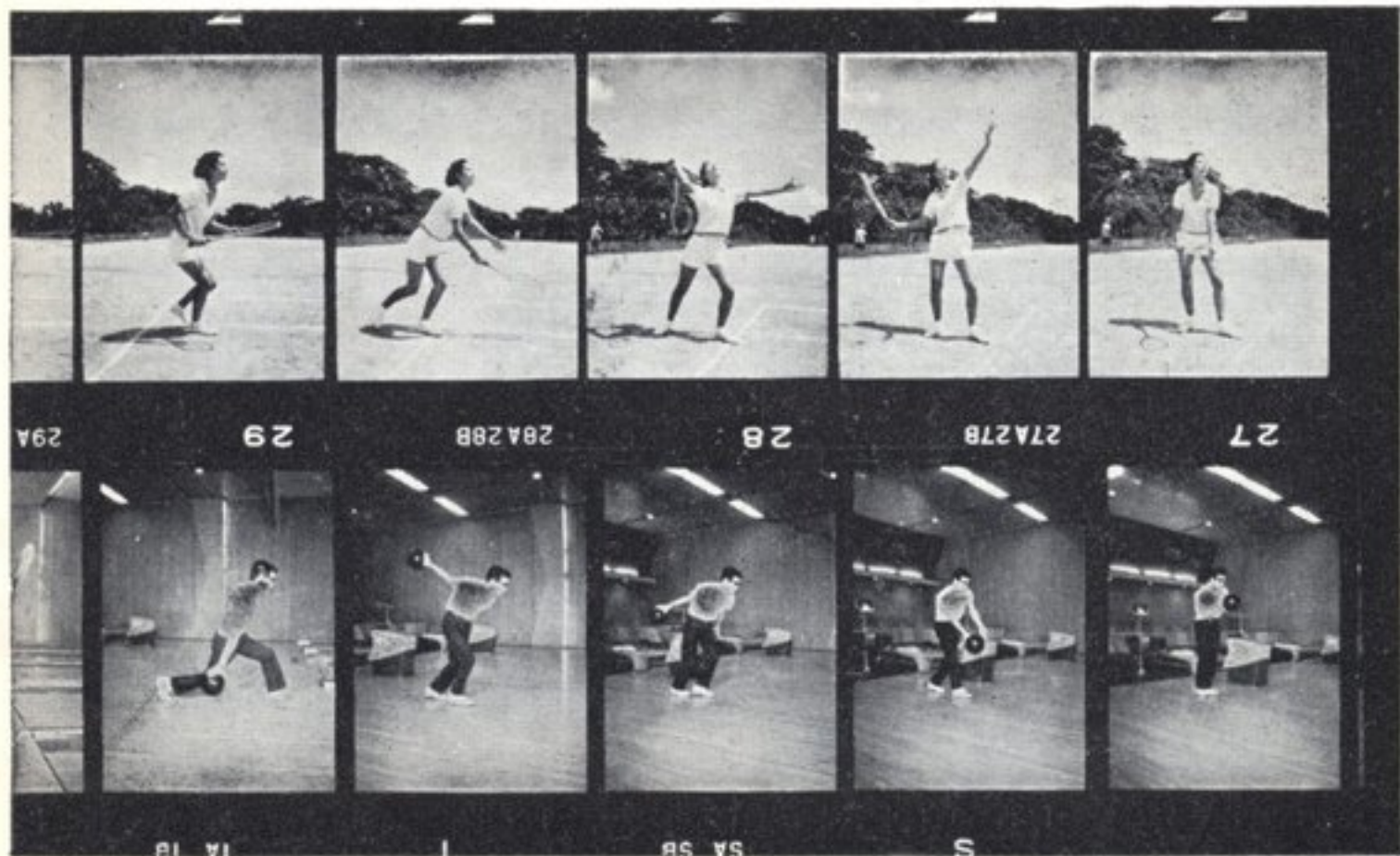
- ① カメラをしっかり構えて
シャッターボタンは、最後まで押してください。
- ② シャッターボタンをはなすと、ジーッと音がして、次のフィルムを巻上げます。

注意

シャッターボタンが途中で止まる
ことがあります。

フィルムを正確に巻上げるための
安全装置で、シャッターボタンを
最後まで押せばもとに戻ります。

◎自動巻きですから次のように連続撮影が出来ます。



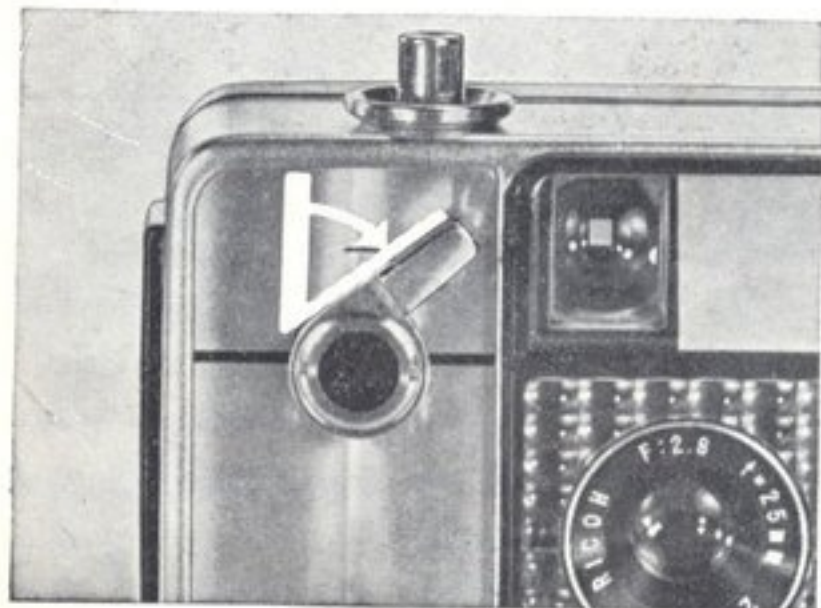
❁ シャッターボタンが押せない時

無理にシャッターボタンを押さずに、次のことを確かめてください。



- ①フィルムを全部写し終っている場合
（この時はフィルムを巻きもどし
新しいフィルムを入れます。）
- ②フィルム巻上げスプリングがなく
なっている場合。（この時はスプ
リングを巻上げます。）
- ③フィルムが入っていない場合、フ
ィルムを入れ、スプリングを巻上
げるとシャッターが切れます。

⊗ セルフタイマー撮影

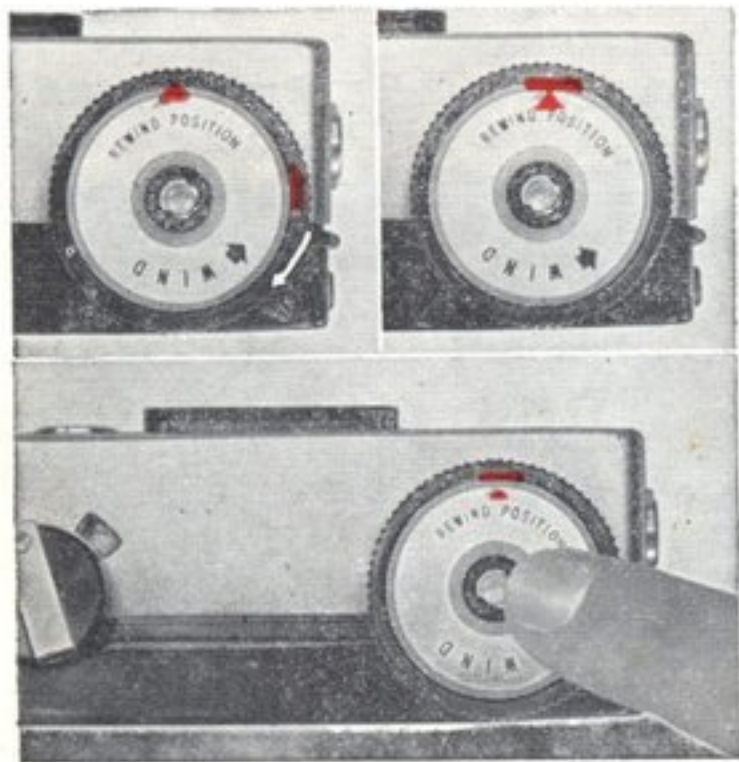


リコーオートハーフSEには、セルフタイマーが組込まれていますから、カメラマンも写真に加わることができます。

一家だんらんの楽しい写真、会合や旅行の記念写真などに用途はたくさんあります。

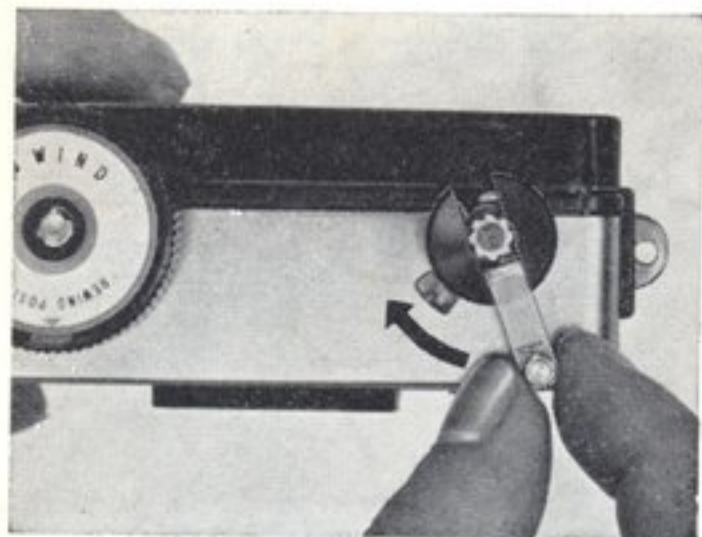
🌀 撮影終了

フィルムを取り出す時は直射日光をさけてください。



フィルムの巻戻し

- ①フィルムカウンターで撮影終了を確かめます。
- ②巻上げノブの赤印と REWIND POSITION の赤印とを合わせて巻戻しボタンを押してください。
※巻戻しボタンが固い事がありますが、そのまま強く押してください。
この時、ジーッと音がしてスプリングがほどけますが、この音はフィルムを巻戻している音ではありません。



※巻戻しボタンをもとに戻すには、
巻上げノブを時計方向にまわし
て、巻上げノブの赤印と
REWIND POSITION の赤印
をずらして下さい。

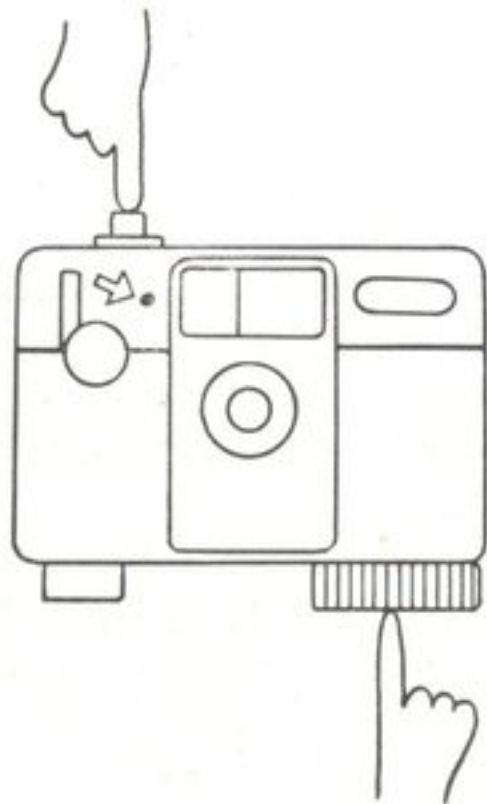
③フィルム巻戻しクランクを起し、
矢印の方向にまわしてフィルムを
巻戻します。

※フィルムが巻戻されるとクラン
クは急に軽くなります。

※撮影中は、クランクの外側は、
回転しない機構になっておりま
す。

※巻戻しボタンは一度確実に押し
ていただければ、あとは指をはな
して巻戻しが出来ます。

🌀 撮影のエッセンス



〈スプリング解除について〉

スプリングが巻上げられたままで、かなり長い間おいても、わるい影響はありません。

〈解除方法〉

巻上げノブの赤印と REWIND POSITION の赤印とを合わせて巻き戻しボタンを押し、シャッターを切るとジーッと音がしてスプリングがほどけます。

※再び撮影の時には、スプリング巻上げノブを前後に往復巻上げ（ラチェット巻上げ）をして、スプリングを巻上げます。

フラッシュ撮影

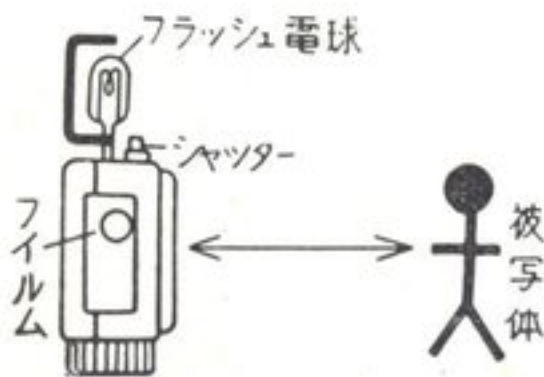


夜間や室内などの暗い所では、ファインダー内の露出警告マークが赤色になります。こんな時は、フラッシュ撮影を行って撮影の楽しさを倍加して下さい。

〈フラッシュ撮影の手順〉

- オートハーフSE専用フラッシュガン(ポケットフラッシュ)使用の場合
 - ①カメラにポケットフラッシュを取付けます。ポケットフラッシュはノコード式ですから、カメラにネジ込むだけで接点は接続されます。
 - ②ポケットフラッシュにフラッシュバルブを取付けます。(AG型専用です)
- お手持のフラッシュガン使用の場合
 - ①カメラにフラッシュユニットアダプターを取付け、フラッシュガンを取付けます。
 - ②コードを接続後フラッシュガンにフラッシュバルブを取付けます。
- フラッシュバルブの種類
オートハーフSEのシャッターはX接点ですからM級バルブ、ストロボのいずれも使用できます。

フラッシュ撮影の露出



絞り値を算出して、絞りダイヤルをAからはずしてセットします。

絞り値 = ガイドナンバー ÷ 距離

- ガイドナンバーとは
使用フィルムの感光度とシャッタースピードに応じたフラッシュバルブの数値で、フラッシュバルブの箱に明示されています。
- オートハーフSEはフラッシュ撮影のとき、絞りダイヤルをAからはずすとシャッタースピードは $\frac{1}{30}$ 秒にセットされます。
絞り目盛は2.8・5.6・11・22となっています。(4) (8) (16)

(例) 東芝 A G - 1 使用の場合

シャッター	フ イ ル ム 感 度		
	A S A 50	A S A 100	A S A 200
$\frac{1}{30}$	30	40	56

S S 級フィルム (A S A 100) を使用している時は、オートハーフ S E のシャッター $\frac{1}{30}$ 秒に対するフラッシュバルブのガイドナンバーを求めます。

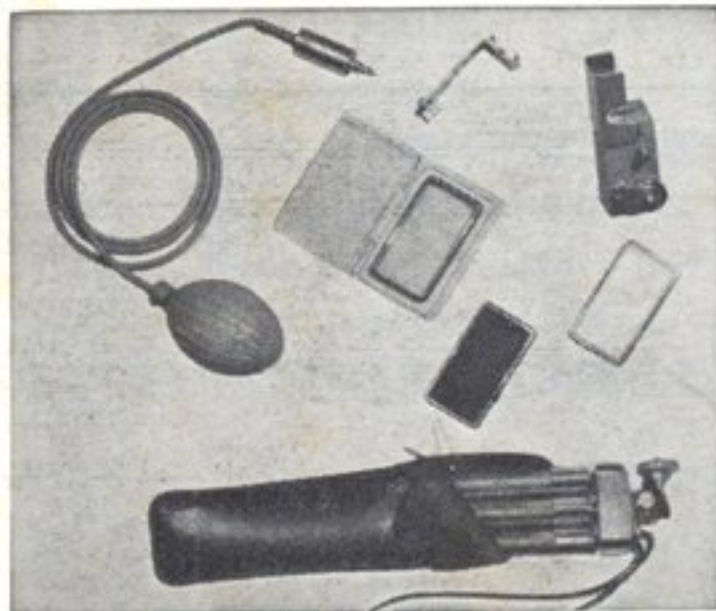
上表より、東芝 A G - 1 を使用する場合は、ガイドナンバーは 40 とわかります。

算出方法より、5メートルの被写体の絞り値は

$40 \div 5 = 8$ より $F = 8$ となります。従ってこの 8 を絞りダイヤル上にセットすればよいわけです。

🌀 アクセサリー

撮影の範囲を拡げ、撮影をより効果的にするため、リコーでは次のようなアクセサリーをとりそろえてあります



1. ポケットフラッシュ
2. フラッシュユニットアダプター
(ポケットフラッシュ以外のフラッシュガン又は、ストロボ使用時)
3. フィルター
UVS
Y2
ND4
4. リモートコントローラー
5. ハーフ三脚

カメラの手入と保存

カメラは精密な機械ですから常にていねいに取扱い、手入れは充分に行ってください。

- ① レンズのゴミはレンズブラシで軽く払い、汚れや指紋などのついて
いる時はやわらかいサラシ木綿か
ガーゼに少量のアルコールをつけ
て中心部から外側へうずを描くよ
うにして、軽く拭いてください。
- ② 海岸や雨日に使用した時は、乾い
たやわらかい布で、とくに金属部
分をよく拭いておいてください。
- ③ レンズと露出計受光窓を保護する
ために、写さない時はいつもレン
ズキャップをかぶせておいてくだ
さい。
- ④ 磁石はもちろん、ラジオやテレビ
など磁気のあるもののそばには、
カメラを置かないでください。
- ⑤ レンズナンバーを控えておきまし
ょう。

リコーオートハーフSE
価 格 表

	現金正価	月賦定価
カメラ	¥13,600	¥14,400
ケース	¥1,000	¥1,000
ストラップ	¥200	¥200



東京・馬込 本社工場全景

RICOH

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1-3-6

